

今定例会の経過

今定例会初日の会議の冒頭で、富山議長から野田市長に対して、「私から本日の異例に第一回定例会を開催した経過を説明させていた

その後、代表者会議、議会運営委員会を開催し、議会としてこの国保問題の早期解決に向けて取り組み、あらゆる指摘をしてきた。ところが市長は記者会見で、とりすぎた保険料の返還財源のうち、その責任を職員に向け職員の人件費から工面すると発表しているが、

念のために重ねて申し上げるが、議会の審議と議決を得るためには市長としての責任を認め、議会の招集と提案に当たっては市長として議会に的確に対応し説明する責任がある。本日この状況を見て、二十年の議員経験のある市長の議会対応であるとは到底想像がつかない。

日までの議会への対応をもう一度考えてください。市民会館の予算の流用問題に端を発した出席説明員の問題で大阪府知事に審査申し立てをしたり、第四回定例会を招集しなかったり、議会と事前に協議なく招集するなどその場しのぎの議会対応を重ねておられる。本日から限られた日程の中で慎重審議は非常に無理があると全員が認めざるを得ない状況にある。

また二十一年度一般会計補正予算など四件の緊急議案については、十二日の本会議で決定しました。

また十八日、十九日には代表、個人質問を行い、その後、議案はそれぞれ所管の委員会に付託され、二十三日から審査が行われましたが、保険料（介護分）を誤ってとりすぎた問題や指定管理者制度の課題、下水道浸水対策事業の問題など、理事者の対応の不十分さから審査が中断しました。

この重要な議案の審議については、十分な審議時間を確保し慎重に審議するため、一月の早い時期から二月中には第一回定例会を開会すべく日程調整をしてきた。しかし、二月五日の国民健康保険運営協議会小委員会が開催される直前、市民生活部より十四年度から国民健康保険料（介護分）を市民から過大徴収していたことの説明があり、事の重大さから、二月十五日に全員協議会を開催し、市長から説明を受けた。市長の説明では、二十年四月には間違いが発覚していたにもかかわらず公表せず、なお二年近くも隠べいし、さらに大きな問題に発展したものである。これはすべて市民への重大な背信行為である。

三月五日、八日、十日に国民健康保険運営協議会小委員会が開催されたが、市当局が説明責任を果たせないため、昨日の夜、諮問どおりの答申が出されず本日の議案送付となつてい

市長、限られた日程の中で十分な慎重審議が困難であることから、今定例会は、市民生活に影響のある予算の審議に限るとし、政策的な予算は改めて臨時議会を開催し、議会の慎重審議の日程を確保するという考えはないのか。今定例会の審議の行方を見据えて熟慮することを強く求めておく。

また新たに発覚したブレミアム商品券の不正利用や指定管理者制度の課題だけでも今定例会での大きな問題であり、二十二年度は市長が通年で予算を組む最後の年であるにもかかわらず、今定例会の市長の議会対応は非常に無責任であるという

また「公平委員会委員」ほか四件の人事案件については、同意または異議ない旨答申がありました。

最終日の本会議では、条例十七件、予算二十五件の計四十二議案のうち条例四件が否決、二十二年年度の一般会計は約九億六千万円を減額修正のうえ可決。その他計三十七議案は原案のとおり決定されました。

また市長、市長就任後今日までの議会への対応をもう一度考えてください。市民会館の予算の流用問題に端を発した出席説明員の問題で大阪府知事に審査申し立てをしたり、第四回定例会を招集しなかったり、議会と事前に協議なく招集するなどその場しのぎの議会対応を重ねておられる。本日から限られた日程の中で慎重審議は非常に無理があると全員が認めざるを得ない状況にある。

また新たに発覚したブレミアム商品券の不正利用や指定管理者制度の課題だけでも今定例会での大きな問題であり、二十二年度は市長が通年で予算を組む最後の年であるにもかかわらず、今定例会の市長の議会対応は非常に無責任であるという

また「公平委員会委員」ほか四件の人事案件については、同意または異議ない旨答申がありました。

最終日の本会議では、条例十七件、予算二十五件の計四十二議案のうち条例四件が否決、二十二年年度の一般会計は約九億六千万円を減額修正のうえ可決。その他計三十七議案は原案のとおり決定されました。

また「公平委員会委員」ほか四件の人事案件については、同意または異議ない旨答申がありました。

最終日の本会議では、条例十七件、予算二十五件の計四十二議案のうち条例四件が否決、二十二年年度の一般会計は約九億六千万円を減額修正のうえ可決。その他計三十七議案は原案のとおり決定されました。

公平委員会委員などの選任に同意

今定例会に提出された人事案件は、次の方に決まりました。（敬称略）

- 公平委員会委員 北井 孝彦
- 固定資産評価審査委員会委員 石津 良行
- 財産区管理委員 清水 登輪 中村 功
- 北川 忠嗣 芝開 實
- 澤田 知宏 西川 洋海
- 松田 健次 足立 郁夫
- 人権擁護委員 妹尾紀美子

請願・陳情

- ◆請願（閉会中の継続審査となった請願）
 - ▼子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める 請願
 - ◆陳情
 - ▼旧東大阪市本庁舎跡地利用について
 - ▼肺炎球菌ワクチンへの公費助成について
 - ▼旧東大阪市本庁舎跡地売却について
 - ▼四条の家・東診療所の存続と充実、発展について